

# 中学校区別実施計画(案)「中期計画」

～前期のまとめと中期の市立小・中学校の学校規模適正化～

平成23年6月

奈良市教育委員会

## 奈良市学校規模適正化「中期計画」を迎えるにあたって

本市では、平成20年1月に策定した「奈良市学校規模適正化実施方針」及び「中学校区別実施計画(案)」に基づき、平成19年度から平成22年度を計画期間とする「前期計画」を策定し、適正化該当地域に設置した協議会や奈良市学校規模適正化検討委員会の協力を得ながら、過小規模又は早期に適正化が必要な小規模の市立幼稚園・小学校・中学校を対象として、学校規模適正化を実施してきました。その結果、平成21年4月に開園した認定こども園富雄南幼稚園では、3歳児保育や長時間保育等を実施し、園児数も適正規模となりました。また、平成23年4月には右京幼稚園と鳥見幼稚園（いずれも小学校内に併設）が開園し、幼小連携をより推進できる環境となりました。同じく平成23年4月に大柳生小学校と相和小学校を統合再編して新しく興東小学校として開校し、複式学級を解消することができました。

しかし、市全体の児童・生徒数の減少は続いており、平成19年度から平成22年度の4年間において1,000人減少したのに対して、平成23年度から平成25年度の今後3年間においては、1,700人の減少が推定されています。また、地元から学校園がなくなることの寂しさやまちづくりの観点等から様々な課題や要望が発生し、統合再編計画に同意をいただくことができていない協議会もあります。

このような状況を受けて、本市では、平成23年度から平成25年度を計画期間とする「中期計画」を策定しました。「中期計画」では、主に過小規模が継続している小・中学校を適正化対象校とし、前期のまとめと市立小・中学校を中心とした学校規模適正化の中期の実施計画案を示しています。なお、市立幼稚園の規模適正化については、平成23年4月に新設された「子ども未来部」で国の動向を見守りながら検討することになるため、この中期計画には含まれていません。

中期計画の推進に当たっては、保護者や地域の方々のご理解を得る必要があることを念頭に置き、将来を担う子どもたちにとって、より良い教育条件を整備し、最適な教育環境を整えていきたいと考えます。

# 奈良市学校規模適正化について

## 【1】市立学校の「学校規模の基準」について

平成20年1月に、奈良市教育委員会が策定した「奈良市学校規模適正化実施方針」及び「中学校区別実施計画(案)」における市立学校の「学校規模の基準」は、以下の通りです。

	過小規模	小規模	適正規模	大規模
小学校	1～5学級または 6学級で100人未満	6学級で100人以上 または7～11学級	12～18学級 (1学年＝2～3学級)	19学級以上
中学校	1～5学級	6～8学級	9～18学級 (1学年＝3～6学級)	19学級以上

※特別支援学級数は含まない。

## 【2】実施計画の期間について

実施計画の期間は、全体計画を平成19～28年度までの10年間とし、「前期」「中期」「後期」に分けました。前期計画においては、過小規模校、適正化が早期に必要な小規模校等を対象に適正化を進めました。中期計画においては、主に過小規模が継続している小・中学校を対象に適正化を進めます。

前期	平成19～22年度	過小規模校、適正化が早期に必要な小規模校・大規模校を対象に適正化を計画、または小規模解消のモデルケースとして計画
中期	平成23～25年度	児童・生徒数の推移等を見て、必要と判断した学校に適正化を計画
後期	平成26～28年度	適正化に複数の段階が必要なものの最終段階の適正化を計画

## 【3】適正化の手法について

計画内で示す適正化の手法は次のとおりです。

統合再編	近接・隣接する学校との関係を検討し、複数の学校をひとつに統合する。
小学校内に併設・幼小連携教育	隣接した小学校に幼稚園を併設し、幼小連携教育の強化を図る。
認定こども園制度導入	従来の幼稚園と保育園の両方の機能を併せもつ認定こども園制度を導入し、保護者の就労の有無にかかわらず子どもを受け入れ、地域の子育て支援も図る。
小中一貫教育	9年間を見通したカリキュラムに基づき、小中教員の協働により連続した学びを提供する。
特認校制度	豊かな自然環境に恵まれた小規模の学校で、住所変更をすることなく通学区域外からの就学を認める制度。

## 中学校区別実施計画(案)「中期計画」 目次

ゾーン	小 学 校	中 学 校	頁
西 部	右 京 ・ 神 功	平 城 西	1
	朱 雀 ・ 佐保台 左 京	平 城 東	2
	富雄北 ・ 鳥 見 [三碓]	富 雄	3
	登美ヶ丘・東登美ヶ丘	登美ヶ丘北	4
	青 和 ・ 二 名 [登美ヶ丘]	二 名	5
	伏 見 ・ 西大寺北 あやめ池	伏 見	6
	富雄南 ・ 三 碓 [あやめ池]	富 雄 南	7
	鶴 舞 ・ 平城西 [登美ヶ丘・東登美ヶ丘]	登 美 ヶ 丘	8
	六 条 ・ 伏見南	京 西	9
中 部	富雄第三	富 雄 第 三	10
	都 跡	都 跡	11
中央市街地	平 城 [平城西・西大寺北・都跡]	平 城	12
	飛 鳥 ・ [椿井]	飛 鳥	13
	鼓 阪 ・ 佐 保 鼓阪北・[相和(興東)]	若 草	14
	濟 美 ・ 大安寺 濟美南	春 日	15
南 部	椿 井 ・ 大 宮 大安寺西・佐保川	三 笠	16
	東 市 ・ 辰 市 明 治 ・ 帯 解 精 華	都 南	17
東部・ 月ヶ瀬・ 都祁	田 原	田 原	18
	柳 生	柳 生	19
	大柳生・相 和 (興東)	興 東	
	月ヶ瀬	月 ヶ 瀬	20
	並 松 ・ 都 祁 吐 山 ・ 六 郷	都 祁	21

\* 小学校欄の[ ]表記は、複数の中学校区にまたがっているため、児童数の多い方の中学校区に掲載しています。  
\* 大柳生小と相和小は、平成23年4月に統合して興東小となりました。

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

平城西中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
平城西	西北部	右京 神功		右京 神功		平城西
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	右京幼 神功幼 右京小	大規模	
全体計画	<p>右京幼稚園は小規模で園舎が老朽化していることから、義務教育との接続の視点を踏まえ、右京小学校内に併設し、幼小連携教育の強化を図る。神功幼稚園は今後も小規模の状況が続くと考えられることから小学校内への併設や保育園との連携などを検討する。</p> <p>また、右京小学校についても小規模であるが、児童数の推移を見守り、今後、減少傾向が明らかになれば適正化を検討する。</p>					
前期	適正化手法等	小学校内に併設・幼小連携教育				
平成19 ↓ 22年度	まとめ	<p>■右京幼稚園の右京小学校内への併設計画</p> <p>右京地域に設置した推進協議会において、右京幼稚園を右京小学校内に併設する実施計画案に合意を得た。その後、平成22年の夏より改修工事が実施され、右京幼稚園は右京小学校内に併設し、平成23年4月に開園した。</p>				

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模	右京小 (10学級)	大規模	
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>右京小学校は小規模であるが、平成23年4月から小学校内に併設される右京幼稚園との連携教育を強化していくことや、今後の児童数の減少が緩やかなことから、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

平城東中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
平城東	西北部	朱雀 佐保台 左京		朱雀 佐保台 左京		平城東
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模	佐保台幼	小規模	朱雀幼 左京幼 佐保台小	大規模	
全体計画	<p>現在、佐保台小学校は過小規模であるが、住宅開発が断続的に行われ、児童数の増加が予想されることから小規模に分類している。今後、児童数の推移を見守り、過小規模の状況が続くようであれば、統合再編等の施策を検討する。</p> <p>また、佐保台幼稚園については過小規模であることから、左京幼稚園に統合再編する。統合先となった左京幼稚園は子育て支援の充実を図るため、幼稚園型の認定こども園制度の導入を検討する。朱雀幼稚園については今後も小規模の状況が続くようであれば、小学校内への併設や保育園との連携を検討する。</p>					
前期 平成19 ↓ 22年度	適正化手法等	統合再編、幼稚園型認定こども園制度導入				
	まとめ	<p>■佐保台幼稚園と左京幼稚園との統合再編、及び幼稚園型認定こども園制度導入計画</p> <p>佐保台地域と左京地域に設置した合同協議会において、両幼稚園の統合再編、及び左京幼稚園に幼稚園型認定こども園制度を導入する実施計画案に合意を得た。今後は、平成23年度に左京幼稚園の施設の増築や改修工事を行い、平成24年4月に認定こども園として開園する。</p>				

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	佐保台小 (6学級90名)	小規模		大規模	
中期 平成23 ↓ 25年度	適正化手法等	統合再編				
	小・中学校実施計画	<p>佐保台小学校は過小規模であるが、住宅開発の動向にあわせて、児童数の推移を見守ることとする。但し、過小規模が継続するようであれば、統合再編等を検討する。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

富雄中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
富雄	西北部	富雄北鳥見 (富雄第三)		富雄北鳥見 (富雄第三) [三碓]		富雄
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	鳥見幼 富雄第三幼	大規模	富雄北小 富雄中
全体計画	<p>鳥見幼稚園は小学校と離れていることや、園舎が老朽化していることから、義務教育との接続の視点を踏まえ鳥見小学校内に併設し、幼小連携教育を強化する。また、富雄第三幼稚園については小規模であるが、園児数の推移を見守り、今後、減少傾向が明らかになれば富雄第三小学校内への併設などを検討する。</p> <p>富雄北小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、通学区域の弾力化や隣接校区を含めた校区の見直し及び再編により適正化を図る。</p>					
前期	適正化手法等	小学校内に併設・幼小連携教育				
平成19 ↓ 22年度	まとめ	<p>■鳥見幼稚園の鳥見小学校内への併設計画</p> <p>鳥見地域に設置した推進協議会において、鳥見幼稚園を鳥見小学校内に併設する実施計画案に合意を得た。その後、平成22年の夏より改修工事が実施され、鳥見幼稚園は鳥見小学校内に併設し、平成23年4月に開園した。</p>				

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	富雄北小 (26学級) 富雄中 (23学級)
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>富雄北小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、通学区域の弾力化等により適正化を図る。</p> <p>また、富雄中学校についても大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、富雄第三中学校が平成23年4月に開校したことから、生徒数の推移を見守ることとする。</p>				
備考	平成22年5月	富雄中学校	888人	23学級		
	平成23年5月	富雄中学校	899人	23学級		
		富雄第三中学校	62人	2学級 (1年生のみ)		

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

登美ヶ丘北中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
登美ヶ丘北	西北部	登美ヶ丘 東登美ヶ丘		登美ヶ丘 東登美ヶ丘		登美ヶ丘北
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	登美ヶ丘幼 東登美ヶ丘幼	大規模	
全体計画	<p>東登美ヶ丘幼稚園は園舎が老朽化していることから、改築等にあたっては幼小の連携や幼稚園型の認定こども園制度の導入などを視野に入れ検討する。</p> <p>登美ヶ丘幼稚園は小規模であるが、幼児数の推移を見守り、今後、減少傾向が明らかになれば登美ヶ丘小学校内への併設などを検討する。</p>					
前期	適正化手法等					
平成19 ↓ 22年度	まとめ					

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	登美ヶ丘小 (21学級) 東登美ヶ丘小 (22学級)
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>登美ヶ丘小学校、東登美ヶ丘小学校は大規模であるが、適正規模を大きく上回らないことや、今後、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

二名中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
二名	西北部	青和 二名		青和 二名 [登美ヶ丘]		二名
課題となる 規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	二名幼	大規模	青和小
全体計画	<p>二名幼稚園は小規模であるが、園児数の推移を見守り、今後、減少傾向が明らかになれば二名小学校内への併設などを検討する。                  青和小学校は現在においては大規模であるが、今後、児童数は逡減すると予想されるため、適正規模に推移する状況を見守る。</p>					
前 期 平成 19 ↓ 22 年度	適正化手法等					
	まとめ					

中期計画

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	青和小 (22学級)
中 期 平成 23 ↓ 25 年度	適正化手法等					
	小・中学校 実施計画	<p>青和小学校は大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、今後、児童数が減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

伏見中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
伏見	西北部	伏見 西大寺北 あやめ池		伏見 西大寺北 あやめ池		伏見
課題となる 規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	あやめ池幼	大規模	伏見小 西大寺北小
全体計画	<p>あやめ池幼稚園は小規模であるが、交通の利便性が高く、人口流出が少ないことや小規模の住宅開発も断続的に行われていることから、当面は現状を維持し、さらに減少が続くようであれば再検討する。</p> <p>伏見小学校と西大寺北小学校は、現在においては大規模であるが、今後、児童数は逡減すると予想されるため、適正規模に推移する状況を見守る。</p>					
前期	適正化手法等					
平成 19 ↓ 22 年度	まとめ					

中期計画

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	伏見小 (23学級) 西大寺北小 (22学級) あやめ池小 (19学級)
中期	適正化手法等					
平成 23 ↓ 25 年度	小・中学校 実施計画	<p>伏見小学校、西大寺北小学校、あやめ池小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

富雄南中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
富雄南	西北部	富雄南 三 碓		富雄南 三 碓 [あやめ池]		富雄南
課題となる 規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	富雄南幼	大規模	富雄南小 三碓小
全体計画	<p>三碓小学校は今後も大規模な状況が続くと予想されるため、隣接校区を含めた校区の見直し・再編及び通学区域の弾力化を図る。富雄南小学校も大規模ではあるが、今後、児童数は逡減すると予想されるため、適正規模に推移する状況を見守る。</p> <p>富雄南幼稚園は小規模であるが、住宅開発が断続的に行われており、幼児数が減少傾向にないことから、当面は現状を維持する。未就園児保育のニーズが高いことから、幼稚園型の認定こども園制度導入のモデル園と位置づける。</p>					
前 期 平成 19 ↓ 22 年度	適正化手法等	幼稚園型認定こども園制度導入				
	ま と め	<p>■富雄南幼稚園への幼稚園型認定こども園制度の導入計画 保護者の就労に関係なく幼児を受け入れ、地域の子育て支援の充実を図るため、富雄南幼稚園に幼稚園型認定こども園制度を導入し、奈良県初の認定こども園として平成21年4月に開園した。</p> <p>市立幼稚園で初めての3歳児保育や長時間保育、給食等を実施し、地域の子育て支援としての充実を図ることができたため、平成19年度に65人であった園児数が平成22年度に154人となり、小規模が解消された。</p>				

中期計画

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	富雄南小 (21学級) 三碓小 (29学級)
中 期 平成 23 ↓ 25 年度	適正化手法等					
	小・中学校 実施計画	<p>富雄南小学校は、今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことから児童数の推移を見守ることとする。</p> <p>また、三碓小学校は、児童数が減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守るとともに、通学区域の弾力化等を検討する。</p>				
	備 考					

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

登美ヶ丘中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校		
登美ヶ丘	西北部	鶴舞 平城西	鶴舞 平城西 [登美ヶ丘・東登美ヶ丘]	登美ヶ丘		
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	鶴舞幼・小 平城西幼・小	大規模	
全体計画	<p>平城西幼稚園については過小規模との境界線上にあることから平城西小学校内に併設を検討する。鶴舞幼稚園は、現段階では減少傾向にあるが、大規模な再開発が計画されていることから幼児数の推移を見守り、減少傾向が継続するようであれば適正化を検討する。</p> <p>鶴舞小学校、平城西小学校については小規模であるが、児童数の推移を見守り、減少傾向が明らかになれば適正化を検討する。</p>					
前期	適正化手法等					
平成19 ↓ 22年度	まとめ					

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模	鶴舞小 (11学級)	大規模	
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画					
備考	<p>平成22年度中の時点では、鶴舞小は12学級で適正規模であったため、検討対象とならなかった。しかし、平成23年5月現在は11学級となったので、小規模に区分している。</p>					

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

京西中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校	
京西	西北部	六条 伏見南	六条 伏見南	京西	
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	大規模	六条小
全体計画	<p>六条小学校は今後も大規模な状況が続くと予想されるが、緩やかな減少傾向にあり、現校舎の規模で対応できることから現状維持とする。また、その状況をみながら、児童数に応じた教育環境の整備を図る。</p>				
前期	適正化手法等				
平成19 ↓ 22年度	まとめ				

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模	大規模	六条小 (28学級)
中期	適正化手法等				
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>六条小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>			
備考					

中 学 校 区		ゾ ー ン 別	幼 稚 園		小 学 校		中 学 校	
富雄第三		西北部	富雄第三		富雄第三		富雄第三	
課 題 と な る 規 模 の 区 分 (平成19年5月現在)		過小規模		小規模		大規模		
全 体 計 画		※ 富雄第三中学校区は、富雄中学校区から新設されたので 全体計画に記載していない。						
前 期 平成 19 ↓ 22 年度	適正化手法等							
	ま と め							

中期計画

課 題 と な る 規 模 の 区 分 (平成23年5月現在)		過小規模		小規模		大規模		
中 期 平成 23 ↓ 25 年度	適正化手法等							
	小・中学校 実施計画							
備 考		富雄第三中学校は、平成23年4月富雄第三小学校と一体型の小中一貫校として開校した。						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

都跡中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校	中学校	
都跡	中部	佐紀 都跡		都跡	都跡	
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模	佐紀幼	小規模		大規模	都跡小
全体計画	<p>佐紀幼稚園は過小規模であり、今後もこの状況が続くと考えられることから都跡幼稚園へ統合再編するとともに、統合先となった都跡幼稚園は子育て支援の充実を図るため、幼稚園型認定こども園制度の導入を検討する。</p> <p>都跡小学校は大規模ではあるが、今後、児童数は逡減すると予想されるため、適正規模に推移する状況を見守る。また、スクールバスで遠距離通学をしている地域は、通学区域の弾力化を検討する。</p>					
前期	適正化手法等	統合再編、幼稚園型認定こども園制度導入				
平成19 ↓ 22年度	まとめ	<p>■佐紀幼稚園と都跡幼稚園との統合再編、及び幼稚園型認定こども園制度導入計画</p> <p>佐紀地域と都跡地域の合同協議会を設置し、統合再編等の実施計画案について協議を行ったが、佐紀地域からの要望は都跡幼稚園との統合再編ではなく、佐紀幼稚園に認定こども園制度を導入して欲しいというものであった。そのため、前期の実施計画案は進んでいない。</p>				

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	都跡小 (20学級)
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>都跡小学校は今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

平城中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校	
平城	中部	平城	平城 [平城西・西大寺北] [都跡]	平城	
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	大規模	平城小
全体計画	平城小学校は現在においては大規模であるが、今後、児童数は適正規模を大きく上回ることがないと予想されるため、適正規模に推移する状況を見守る。				
前期 平成19 ↓ 22年度	適正化手法等				
	まとめ				

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模	大規模	平城小 (24学級)
中期 平成23 ↓ 25年度	適正化手法等				
	小・中学校実施計画	平城小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。			
備考					

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

飛鳥中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
飛鳥	中央市街地	飛鳥		飛鳥 [椿井]		飛鳥
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	飛鳥幼	大規模	飛鳥小
全体計画	<p>飛鳥幼稚園は小規模であり、今後も園児数の増加が見込めないことなどから、小規模の状況が継続するようであれば、飛鳥小学校内への併設などを検討する。</p> <p>飛鳥小学校は現在においては大規模であるが、今後、児童数は逡減すると予想されるため、適正規模に推移する状況を見守る。</p>					
前期	適正化手法等					
平成19 ↓ 22年度	まとめ					

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模		大規模	飛鳥小 (21学級)
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>飛鳥小学校は今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

若草中校区

中学校区		ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
若草		中央市街地	鼓阪 佐保 鼓阪北		鼓阪 佐保 鼓阪北[相和(興東)]		若草
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)		過小規模	鼓阪幼	小規模	鼓阪北幼 鼓阪小 鼓阪北小	大規模	
全体計画		<p>鼓阪幼稚園は過小規模であり、鼓阪北幼稚園も今後、過小規模となることが予想されることから、鼓阪幼稚園に統合再編し、統合先の鼓阪幼稚園において子育て支援の充実を図るため、幼稚園型認定こども園制度の導入を検討する。</p> <p>また、鼓阪小学校、鼓阪北小学校は小規模であるが、児童数の推移を見守り、今後、減少傾向が明らかになれば適正化を検討する。</p>					
前期 平成19 ↓ 22年度	適正化手法等	統合再編、幼稚園型認定こども園制度導入					
	まとめ	<p>■鼓阪北幼稚園と鼓阪幼稚園との統合再編、及び幼稚園型認定こども園制度導入計画</p> <p>鼓阪北幼稚園と鼓阪幼稚園を統合再編し、鼓阪幼稚園に幼稚園型認定こども園制度を導入する計画案について、鼓阪北地域では地域振興やまちづくりの観点等から廃園になることに理解が得られなかった。</p> <p>また、鼓阪幼稚園、鼓阪北幼稚園の園児数が予想以上に減少していることから、計画案の見直しが必要である。</p>					

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)		過小規模		小規模	鼓阪小 (6学級110人) 鼓阪北小 (8学級)	大規模	
中期 平成23 ↓ 25年度	適正化手法等						
	小・中学校実施計画	<p>鼓阪小学校、鼓阪北小学校は小規模であるが、今後の児童数の減少が緩やかなため、児童数の推移を見守ることとする。</p>					
備考							

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

春日中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校		
春日	中央市街地	済美 大安寺	済美 大安寺 済美南	春日		
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	済美南小	大規模	
全体計画	済美南小学校は小規模であるが、児童数の推移を見守り、今後、減少傾向が明らかになれば適正化を検討する。					
前期 平成19 ↓ 22年度	適正化手法等					
	まとめ					

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模	済美南小 (11学級)	大規模	済美小 (19学級)
中期 平成23 ↓ 25年度	適正化手法等					
	小・中学校実施計画	<p>済美南小学校は小規模であるが、児童数の減少が緩やかなため、児童数の推移を見守ることとする。</p> <p>済美小学校は大規模であるが、今後の児童数の減少によって適正規模になることも予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

三笠中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園		小学校		中学校
三笠	中央市街地	大宮 大安寺西		椿井・大宮 大安寺西 佐保川		三笠
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模	大宮幼 椿井小	大規模	大宮小 三笠中
全体計画	<p>椿井小学校は小規模であるが、専門的な聴力検査が行える防音室の設備が整っており、市内全域から通学できる難聴学級と難聴通級指導教室（きこえの教室）が設置され、奈良市の難聴児教育のセンター的役割を担っている。このことから現状を維持することとする。</p> <p>大宮小学校と三笠中学校は大規模であるが、大きく適正規模を上回ることがないと想定する。</p> <p>大宮幼稚園は園児数の推移を見守りながら、減少傾向が明らかになれば適正化を検討する。</p>					
前期	適正化手法等					
平成19 ↓ 22年度	まとめ					

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模		小規模	椿井小 (9学級)	大規模	三笠中 (24学級)
中期	適正化手法等					
平成23 ↓ 25年度	小・中学校 実施計画	<p>椿井小学校は小規模であるが、専門的な聴力検査が行える防音室の設備が整っており、市内全域から通学できる難聴学級と難聴通級指導教室（きこえの教室）が設置され、奈良市の難聴児教育のセンター的役割を担っているため、現状を維持する。</p> <p>三笠中学校は今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、児童・生徒数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童・生徒数の推移を見守ることとする。</p>				
備考						

# 奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

都南中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校	
都南	南部	東市・辰市 明治・帯解 精華	東市・辰市 明治・帯解 精華	都南	
課題となる 規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模	帯解幼 精華幼・小	小規模	東市幼・辰市 幼・明治幼 帯解小	大規模
全体計画	<p>精華幼稚園は過小規模が続くことから帯解幼稚園に統合再編する。統合後においても帯解幼稚園は過小規模であることから、帯解幼稚園・帯解保育園の老朽化による改築にあわせて、子育て支援の充実を図るため、認定こども園制度の導入を検討する。</p> <p>東市幼稚園については、小規模の状況が継続すると予測されることから小学校への併設などを検討する。辰市幼稚園・明治幼稚園については、今後の園児数の推移により、状況に応じた適正化を検討する。</p> <p>精華小学校は、過小規模であるため、帯解小学校へ統合再編する。</p>				
前期	適正化手法等	統合再編、認定こども園制度導入			
平成 19 ↓ 22 年度	まとめ	<p>■精華幼稚園と帯解幼稚園との統合再編及び帯解保育園との再編による認定こども園制度導入計画、精華小学校と帯解小学校との統合再編計画</p> <p>精華地域に設置した協議会において、精華幼稚園と帯解幼稚園を統合再編し、さらに帯解保育園との再編による認定こども園制度を導入する計画案に、地域振興やまちづくりの観点等から理解を得ることができなかった。そのため、協議会は継続して開催できず、前期の実施計画案は進んでいない。また、精華小学校の統合再編計画についても、幼稚園と同様に地域の理解を得ることはできなかった。</p>			

## 中期計画

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	精華小 (3学級22人)	小規模	帯解小 (6学級141人)	大規模	
中期	適正化手法等	統合再編				
平成 23 ↓ 25 年度	小・中学校 実施計画	<p>精華小学校は過小規模が継続し、複式学級が発生しているため、集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から、帯解小学校との統合再編を検討する。</p>				
備考						

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

田原中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校
田原	東部	田原	田原	田原
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模	田原幼 田原小 田原中	小規模	大規模
全体計画	田原小・中学校については、後期計画(平成26-28年度)において、東部3小学校(柳生小・大柳生小・相和小)・2中学校(柳生中・興東中)の統合先である1小・1中学校に統合再編する予定のため、前期・中期計画においては、小中一貫教育を軸にしながら、田原幼稚園との幼小連携を強化し、より活性化を図っていく。			
前期	適正化手法等			
平成19 ↓ 22年度	まとめ			

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	田原小 (6学級39人) 田原中 (3学級31人)	小規模	大規模
中期	適正化手法等	特認校制度		
平成23 ↓ 25年度	小・中学校実施計画	<p>前期計画における東部3小学校(柳生小・大柳生小・相和小)・2中学校(柳生中・興東中)の1小・1中学校への統合再編計画を児童の通学距離や通学時間等を配慮することから、2小・1中学校への統合再編計画に見直したため、田原小・中学校における後期計画での統合再編も見直すこととする。</p> <p>田原小・中学校は今後も過小規模が継続すると考えられるが、小中一貫教育の充実を図りながら、特認校制度等の導入についても検討する。</p>		
備考				

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

柳生・興東中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校
柳生 興東	東部	大柳生 狭川(休園)	柳生 大柳生・相和 (興東)	柳生 興東
課題となる 規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模	全ての 幼・小・中	小規模	大規模
全体計画	<p>最終的には、田原幼稚園・田原小学校・田原中学校も含めて、1幼児施設・1小学校・1中学校に統合再編し、幼小中一貫教育を行う。</p> <p>前期計画においては、柳生・大柳生・相和の3小学校を統合再編し、柳生・興東の2中学校を統合再編する。大柳生・狭川(休園)幼稚園は、柳生保育園と(仮)東部認定こども園として統合再編を図り、就労の有無に関係なく満3歳から幼稚園教育を受けられるようにするとともに、長時間保育や子育て支援を充実する。</p>			
前期 平成19 ↓ 22年度	適正化手法等	統合再編、 小中一貫教育		
	まとめ	<p>■柳生・大柳生・相和の3小学校、柳生・興東の2中学校の統合再編計画 柳生、大柳生、相和小学校区において各協議会を設置し、3小学校・2中学校の1小・1中学校への統合再編について協議したが、児童の通学距離・通学時間等の課題もあり、当初の統合再編計画に合意を得ることはできなかった。そのため、以下の①②の新たな実施計画案を示した。</p> <p>①大柳生小学校と相和小学校を統合再編し、柳生小学校は中期計画に向けて統合再編を行わず、児童数の推移を見守ることとする。</p> <p>②興東中学校と柳生中学校を統合し、統合先については、今後、中学校仕様に改修する大柳生小学校の場所とする。</p> <p>平成23年4月大柳生小と相和小が統合し、興東小として開校した。</p>		

中期計画

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	柳生小 (4学級37人) 興東小 (6学級59人) 柳生中 (3学級18人) 興東中 (3学級37人)	小規模	大規模
中期 平成23 ↓ 25年度	適正化手法等	統合再編		
	小・中学校 実施計画	<p>興東中学校と柳生中学校はいずれも過小規模が継続しており、集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から統合再編を行う。但し、統合先については、今後、中学校仕様に改修する大柳生小学校の場所とする。</p>		
備考				

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

月ヶ瀬中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校
月ヶ瀬	月ヶ瀬	—	月ヶ瀬	月ヶ瀬
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模	月ヶ瀬小 月ヶ瀬中	小規模	大規模
全体計画	<p>小中学校ともに過小規模であるが、他のゾーンとは地理的に離れていることから、他校との統廃合は困難な状況にあるため、今後、学校の活性化や特色ある学校づくりを進める視点で、小中一貫教育や特認校制度の導入について検討する。</p> <p>また、幼児数が少ない状況から、幼稚園を新設することは困難であり、幼児教育の一層の充実のため、保育所型の認定こども園制度の導入を検討する。</p>			
前期	適正化手法等	小中一貫教育、 特認校制度		
平成19 ↓ 22年度	まとめ			

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	月ヶ瀬小 (6学級63人) 月ヶ瀬中 (3学級46人)	小規模	大規模
中期	適正化手法等	特認校制度		
平成23 ↓ 25年度	小・中学校実施計画	<p>月ヶ瀬小・中学校ともに過小規模であるが、他のゾーンとは地理的に離れていることから、他校との統廃合は困難な状況にあり、今後、学校の活性化や特色ある学校づくりを進める視点で、特認校制度等の導入について検討する。</p>		
備考				

奈良市立学校・園規模の適正化実施計画

都祁中校区

中学校区	ゾーン別	幼稚園	小学校	中学校
都 祁	都 祁	—	並松・都祁 吐山・六郷	都 祁
課題となる規模の区分 (平成19年5月現在)	過小規模		小規模 並松小・都祁小 吐山小・六郷小 都祁中	大規模
全体計画	<p>新市建設計画において「幼稚園建築事業」「保育所建設事業」が計画されていることから、幼児数の減少状況を勘案し、幼稚園と保育所の施設を一体化した幼保連携型の認定こども園制度の導入を検討する。</p> <p>また、各小学校とも小規模化が加速する状況にあることから、将来的には1小学校に統合再編し、小中一貫教育の導入等を検討する。</p>			
前 期 平成 19 ↓ 22 年度	適正化手法等	認定こども園、 統合再編、 小中一貫教育		
	ま と め	<p>新市建設計画における「幼稚園建築事業」については、地元住民の必要性が少ないということから、地域における子育て支援等を充実させるため、並松、都祁、吐山、三城保育園及び休園中の小倉、深川6保育園を統合再編し、移転新設計画の都祁保育園に保育所型の認定こども園制度を導入し、平成22年4月に認定こども園都祁保育園として開園した。</p>		

中期計画

課題となる規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	並松小 (6学級64人) 吐山小 (6学級58人) 六郷小 (6学級68人)	小規模	都祁小 (6学級119人) 都祁中 (6学級180人)	大規模
中 期 平成 23 ↓ 25 年度	適正化手法等	統合再編			
	小・中学校 実施計画	<p>並松小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模であり、今後も過小規模が継続するようであれば、都祁小学校を含めて統合再編等を検討する。</p>			
	備 考				

# 資 料

- ・ 市立小・中学校の規模と生徒数
- ・ 平成15～27年度までの児童数・生徒数・  
学級数の推移
- ・ 学校規模適正化の検討経過

# 市立小学校の規模と児童数

## 市立小学校一覧

番号	小学校名	児童数	学級数
1	椿井	221	9
2	飛鳥	555	21
3	鼓阪	110	6
4	済美	561	19
5	佐保	363	14
6	大宮	508	18
7	都跡	599	20
8	大安寺	360	14
9	東市	297	12
10	平城	693	24
11	辰市	331	13
12	明治	434	17
13	帯解	141	6
14	精華	22	3
15	伏見	649	23
16	富雄南	583	21
17	富雄北	762	26
18	田原	39	6
20	柳生	37	4
22	興東	59	6
23	あやめ池	492	19
24	鶴舞	266	11
25	鳥見	441	16
26	登美ヶ丘	550	21
27	六条	831	28
28	青和	639	22
29	右京	219	10
30	東登美ヶ丘	636	22
31	二名	398	16
32	西大寺北	629	22
33	富雄第三	454	15
34	平城西	366	12
35	大安寺西	544	18
36	三碓	899	29
37	神功	367	13
38	朱雀	345	13
39	済美南	252	11
40	鼓阪北	196	8
41	伏見南	367	13
42	佐保台	90	6
43	佐保川	470	18
44	左京	362	15
45	月ヶ瀬	63	6
46	並松	64	6
47	都祁	119	6
48	吐山	58	6
49	六郷	68	6
	合計	17509	670

【平成23年5月現在】

学級数					
29	三碓	899			
28	六条	831			
26	富雄北	762			
24	平城	693			
23	伏見	649			
22	青和	639	東登美ヶ丘 636	西大寺北 629	
21	飛鳥	555	富雄南 583	登美ヶ丘 550	
20	都跡	599			
19	済美	561	あやめ池 492		
18	大宮	508	大安寺西 544	佐保川 470	
17	明治	434			
16	鳥見	441	二名 398		
15	富雄三	454	左京 362		
14	佐保	363	大安寺 360		
13	辰市	331	神功 367	朱雀 345	伏見南 367
12	東市	297	平城西 366		
11	鶴舞	266	済美南 252		
10	右京	219			
9	椿井	221			
8	鼓阪北	196			
6	鼓阪	110	帯解 141	都祁 119	田原 39
	佐保台	90	月ヶ瀬 63	並松 64	吐山 58
					六郷 68
4	柳生	37			
3	精華	22			

	大規模:19学級以上
	適正規模:12~18学級
	小規模:6学級で100人以上又は7~11学級
	過小規模:1~5学級又は6学級で100人未満

※特別支援学級数は含まない。

# 市立中学校の規模と生徒数

市立中学校一覧

【平成23年5月現在】

番号	小学校名	児童数	学級数
1	春日	599	16
2	三笠	887	24
3	若草	406	12
4	伏見	589	16
5	富雄	899	23
6	都南	558	18
7	田原	31	3
8	柳生	18	3
9	興東	37	3
10	登美ヶ丘	319	9
11	平城西	368	12
12	二名	569	16
13	京西	592	16
14	富雄南	599	16
15	平城	424	13
16	飛鳥	339	12
17	登美ヶ丘北	365	11
18	都跡	319	9
19	平城東	452	12
20	月ヶ瀬	46	3
21	都祁	180	6
22	富雄第三	62	2
	合計	8658	255

学級数				
24	三笠	887		
23	富雄	899		
18	都南	558		
16	春日	599	伏見 589	二名 569
13	平城	424	京西 592	富雄南 599
12	若草	406	平城西 368	飛鳥 339
11	登美北	365	平城東 452	
9	登美ヶ丘	319	都跡 319	
6	都祁	180		
3	田原	31	柳生 18	興東 37
2	富雄第三	62	月ヶ瀬 46	

	大規模:19学級以上
	適正規模:9~18学級
	小規模:6~8学級
	過小規模:1~5学級

※特別支援学級数は含まない。

園名	学校基本調査																		住民基本台帳に基づく推計							
	H15		H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27	
	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL
1 椿井	254	9	239	8	237	8	228	8	220	9	242	10	238	10	231	9	221	9	206	8	190	8	166	7	152	6
2 飛鳥	734	21	738	20	718	20	687	21	653	20	628	20	611	22	560	21	555	21	540	20	529	20	527	20	515	19
3 鼓阪	186	6	174	6	168	6	170	6	152	6	145	6	140	6	128	6	110	6	120	6	124	6	137	6	133	6
4 済美	597	18	608	18	618	18	618	18	594	19	619	20	605	20	573	19	561	19	530	19	514	19	460	17	432	17
5 佐保	539	17	514	16	492	15	453	15	437	14	427	15	396	15	359	14	363	14	358	15	359	15	337	14	343	14
6 大宮	597	17	582	17	575	17	539	17	523	18	545	20	536	19	532	18	508	18	525	18	509	18	521	19	526	20
7 都跡	690	20	701	20	699	20	690	20	676	20	669	20	665	20	608	19	599	20	568	20	543	21	546	22	533	22
8 大安寺	429	13	430	13	405	12	378	12	372	13	373	13	346	12	347	12	360	14	358	14	366	15	377	15	392	16
9 東市	321	12	309	12	293	12	288	12	291	12	298	12	300	12	309	12	297	12	295	12	273	12	260	12	258	12
10 平城	658	19	667	18	660	18	655	18	677	19	700	22	699	24	710	24	693	24	661	25	659	25	662	25	661	25
11 辰市	536	17	513	14	466	13	450	15	410	14	384	14	365	14	351	15	331	13	346	14	351	15	356	15	380	16
12 明治	425	13	416	13	398	12	397	13	407	14	407	15	437	15	445	17	434	17	426	16	445	17	438	17	419	17
13 帯解	155	6	148	6	149	6	138	6	144	6	150	6	143	6	148	6	141	6	147	6	128	6	124	6	124	6
14 精華	43	6	36	4	30	4	28	4	23	3	25	3	23	4	21	2	22	3	19	3	23	4	19	3	21	3
15 伏見	682	20	660	18	643	18	645	19	642	20	667	22	691	21	652	22	649	23	631	23	640	24	649	25	646	25
16 富雄南	560	17	580	18	557	18	552	18	545	18	555	18	570	18	568	20	583	21	593	22	584	22	574	21	563	20
17 富雄北	891	24	944	26	942	26	951	28	905	29	853	28	824	28	792	27	762	26	731	26	729	27	726	26	735	27
18 田原	76	6	86	6	77	6	61	6	62	6	52	6	45	6	46	6	39	6	43	5	36	4	35	4	39	4
19 水間	19	4																								
20 柳生	69	6	66	6	49	6	44	5	35	5	36	4	31	4	27	4	37	4	38	4	40	5	45	4	46	5
21 大柳生	34	5	32	4	28	4	27	3	30	4	24	3	22	4	17	3										
22 相和(興東)	60	6	51	6	52	5	54	5	48	5	42	4	47	5	43	4	59	6	59	6	53	6	54	6	53	5
23 あやめ池	449	14	424	13	445	14	478	15	502	17	512	19	508	17	513	19	492	19	495	18	494	19	486	19	485	19
24 鶴舞	311	12	312	12	311	12	302	12	312	12	296	12	285	12	289	12	266	11	253	11	244	11	233	11	222	11
25 鳥見	494	15	528	16	539	17	498	17	477	16	496	17	487	17	474	17	441	16	431	17	413	17	385	16	350	15
26 登美ヶ丘	585	18	604	18	622	18	623	20	618	20	607	22	578	21	558	20	550	21	519	20	504	20	472	19	474	19
27 六条	919	26	881	25	860	24	879	24	854	27	820	28	819	27	834	28	831	28	799	29	785	29	771	28	729	26
28 青和	637	19	638	19	660	20	679	21	687	22	680	23	693	22	690	24	639	22	615	22	568	21	546	20	511	19
29 右京	322	12	308	12	317	12	315	12	284	12	274	11	260	11	241	10	219	10	214	10	214	11	213	11	204	11
30 東登美ヶ丘	422	13	452	14	443	13	502	16	547	19	581	20	594	21	609	22	636	22	601	22	565	22	557	21	530	20
31 二名	445	14	437	12	427	13	421	14	407	14	408	15	409	16	409	16	398	16	389	16	402	17	378	16	383	16
32 西大寺北	532	18	529	18	524	18	527	18	540	18	562	19	593	20	621	21	629	22	642	23	645	24	627	24	604	24
33 富雄第三	419	12	437	12	468	14	476	15	492	15	476	16	492	16	472	16	454	15	432	17	402	16	410	16	377	15
34 平城西	309	11	306	11	291	10	305	11	306	11	323	11	330	11	333	12	366	12	323	12	306	12	303	12	288	12
35 大安寺西	618	18	634	18	632	18	625	20	615	21	589	20	589	20	561	21	544	18	534	20	513	20	514	20	496	19
36 三碓	697	20	764	22	812	23	865	25	924	28	943	30	963	29	928	29	899	29	889	32	862	32	841	31	803	29
37 神功	456	14	474	15	491	15	484	16	507	17	472	16	441	15	418	14	367	13	348	14	298	13	268	12	239	11
38 朱雀	433	14	404	12	399	12	373	13	362	13	380	14	366	13	359	13	345	13	330	13	314	13	297	12	294	12
39 済美南	388	12	368	12	350	12	329	12	311	12	302	12	272	12	258	11	252	11	251	11	253	11	259	11	248	10
40 鼓阪北	350	12	341	12	334	12	309	12	296	12	263	11	244	10	226	9	196	8	175	7	152	6	143	6	137	6
41 伏見南	500	15	490	14	476	14	469	14	441	15	431	16	410	14	386	14	367	13	366	15	368	16	371	16	377	17
42 佐保台	123	6	108	6	99	6	87	6	80	6	74	6	80	6	85	6	90	6	102	6	108	6	124	6	123	6
43 佐保川	558	17	575	17	567	17	589	19	579	19	556	19	537	19	504	18	470	18	450	17	420	17	428	17	426	17
44 左京	613	18	582	18	569	18	524	18	481	17	454	17	420	16	394	16	362	15	354	15	342	15	318	14	305	13
45 月ヶ瀬	86	6	82	6	92	6	97	6	90	6	89	6	88	6	81	6	63	6	56	5	60	5	59	5	56	5
46 並松	109	6	98	6	95	6	94	6	86	6	76	6	69	6	67	6	64	6	63	6	58	5	52	5	54	5
47 都祁	145	6	145	6	144	6	131	6	128	6	127	6	122	6	123	6	119	6	124	6	127	6	119	6	114	6
48 吐山	127	6	117	6	108	6	96	6	86	6	80	6	74	6	68	6	58	6	60	6	55	6	47	5	39	5
49 六郷	96	6	100	6	93	6	89	6	86	6	86	6	83	6	76	6	68	6	70	6	67	6	59	5	51	5
計	19,698	642	19,632	627	19,424	626	19,219	649	18,944	667	18,798	685	18,540	680	18,044	678	17,509	670	17,079	680	16,634	686	16,294	669	15,890	660

平成23年度推計(中学校)

平成15年度～平成27年度までの生徒数・学級数の推移

園名	学校基本調査														住民基本台帳に基づく推計											
	H15		H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27	
	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL
1 春日	651	18	637	17	648	18	654	18	676	18	620	17	626	22	601	16	599	16	575	15	557	15	566	16	535	15
2 三笠	881	24	838	23	832	22	832	22	858	23	860	23	875	23	890	23	887	24	862	22	837	21	811	21	802	21
3 若草	489	13	458	12	469	12	461	13	442	12	440	12	434	12	431	12	406	12	384	11	357	10	324	9	309	9
4 伏見	678	18	671	18	623	17	598	16	561	15	571	15	576	15	562	15	589	16	585	16	590	16	625	17	635	17
5 富雄	713	19	729	20	785	21	800	21	856	22	859	22	861	22	888	23	899	23	823	21	719	19	667	18	656	18
6 都南	756	23	716	22	725	22	694	21	672	21	632	20	601	19	579	18	558	18	570	15	582	16	599	17	589	17
7 田原	77	3	60	3	61	3	56	3	51	3	46	3	36	3	33	3	31	3	25	3	28	3	21	3	21	3
8 柳生	44	3	44	3	52	3	45	3	43	3	30	3	28	3	24	3	18	3	15	3	11	3	18	3	16	3
9 興東	76	3	69	3	54	3	50	3	41	3	42	3	39	3	39	3	37	3	38	3	37	3	29	3	28	3
10 登美ヶ丘	382	11	350	10	350	10	320	9	306	9	296	9	309	9	333	9	319	9	315	9	295	9	281	9	283	9
11 平城西	377	11	356	10	350	10	327	9	329	9	348	10	369	11	370	11	424	12	341	10	331	10	304	9	290	9
12 二名	494	14	454	12	468	13	490	14	518	15	514	15	513	15	517	15	368	16	542	15	547	15	533	15	529	15
13 京西	640	17	616	17	622	18	582	17	600	17	587	16	613	16	567	15	569	16	562	16	554	16	511	15	519	15
14 富雄南	585	16	578	16	539	15	534	15	557	16	575	15	585	16	603	16	592	16	590	16	559	15	556	15	554	15
15 平城	489	13	419	12	424	12	413	13	407	12	377	11	376	11	410	12	599	13	436	12	433	12	439	12	437	12
16 飛鳥	326	9	349	10	352	10	358	12	346	11	330	11	324	11	337	12	339	12	331	10	292	9	299	9	289	9
17 登美ヶ丘北	260	8	258	9	256	8	279	9	287	9	317	9	322	9	342	9	365	11	375	10	376	11	397	12	377	11
18 都跡	324	10	316	9	313	9	326	9	341	10	338	10	331	10	311	9	319	9	326	9	320	9	306	9	298	9
19 平城東	499	13	497	13	490	13	510	14	506	14	498	14	469	13	449	12	452	12	398	11	367	11	357	11	362	11
20 月ヶ瀬	62	3	58	3	50	3	36	3	35	3	40	3	44	3	41	3	46	3	50	3	48	3	41	3	38	3
21 都祁	258	8	252	8	248	8	238	7	229	6	230	6	223	6	207	6	180	6	165	6	162	6	170	6	168	6
22 富雄第三																	62	2	137	4	222	7	225	7	233	8
計	9,061	257	8,725	250	8,711	250	8,603	251	8,661	251	8,550	247	8,554	252	8,534	245	8,658	255	8,445	240	8,224	239	8,079	239	7,968	238

推計の方法について

- 平成15年度から平成23年度までは、学校基本調査をもとに作成した。
- 平成24年度から平成27年度までは、平成22年度5月1日の住民基本台帳をもとに、平成20年度から平成22年度までの3年間の就園・就学率の平均値を用いて作成した。
- 小学校においては、平成20年度から1・2年生の1学級30人の定員となっている。  
(平成22年度から3年生まで、以降毎年1学年毎に30人の定員に移行予定)
- 春日中学校の夜間学級数、生徒数は含まない。
- 人数は、障害児数が含まれる。学級数に障害児学級数は含まない。
- 推計における小学校のクラス数は、複式学級についてのルールを考慮している。  
(複式学級：1年生と2年生併せて6人以下なら複式学級、または2学年併せて14人以下なら複式学級)

## 学校規模適正化の検討経過

平成 18 年 6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奈良市学校規模適正化検討委員会（以下、「検討委員会」とする。）を設置</li> <li>● 市教育長が、検討委員会に対して「小・中学校及び幼稚園について、子どもたちがより良い教育環境の中で効果的な教育が受けられるような適正規模、適正配置の基本的な考え方及び市や地域の特性を踏まえた適正化を図るための方策について」を諮問</li> </ul>
平成 18 年 6 月～ 平成 19 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検討委員会で、学校園の適正化の方針について検討</li> </ul>
平成 19 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検討委員会が「奈良市学校規模適正化基本方針（提言）」を提言</li> </ul>
平成 20 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「奈良市学校規模適正化基本方針（提言）」をもとに、市教育委員会が「奈良市学校規模適正化実施方針」及び「中学校区別実施計画（案）」を策定</li> </ul>
平成 19 年度～ 平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校区別実施計画（案）「前期計画」に基づき、検討委員会及び適正化該当地域に設置した協議会で、地域別の課題等について検討</li> <li>● 計画案に合意を得られた校区について、学校園の統合再編等を実施</li> </ul>
平成 21 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定こども園富雄南幼稚園開園</li> </ul>
平成 21 年度～ 平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検討委員会で、中学校区別実施計画（案）「中期計画」について検討</li> </ul>
平成 23 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 右京幼稚園及び鳥見幼稚園を、右京小学校及び鳥見小学校内に併設して開園</li> <li>● 大柳生小学校と相和小学校を統合再編し、興東小学校として開校</li> <li>● 市が「子ども未来部」を設置 これに伴い、規模適正化の担当が、子ども未来部（幼稚園）、教育委員会（小・中学校）に分かれる</li> </ul>
平成 23 年 6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市教育委員会が、中学校区別実施計画（案）「中期計画」を策定</li> </ul>